

令和4年度第1回鹿児島市病院事業経営計画策定推進委員会
(7/1 開催)における委員の主な意見について

- 1 市立病院の認定看護師はリーダー的存在であり、看護師のスキルアップにつながることから計画的に養成してほしい。スキルアップについては看護学生の関心も高い。研修は協会も行っているが市立病院のような中核医療機関が、外部の医療従事者にも門戸をひろげて研修を開催することは地域医療にとって意義がある。
- 2 研修医の勤務時間が長いことが課題となっている。研修医が医師として成長するために頑張る必要があるが、長時間勤務が問題となっている。改善する必要があるが難しい。地域で議論し国民の理解も得る必要がある。
- 3 どういう医療機関を目指すのか、その事が内部で共有できているのか。消防など外部が理解しているのか。企業ではIR活動を行っており、どういう企業を目指しているのかを説明することに力を入れている。
- 4 ISO15189の取得により、業務のPDCAサイクルがまわり検査の質が上がる。
- 5 企業の理念や社会的価値を説明することが重要だと言われている。市立病院の使命や役割を説明する必要がある。市民や議会の存在もあり様々な意見もあると思うが、他の公立病院と連携を図りながら市立病院が本来やるべきことをしっかりと再認識しブラッシュアップすることは必要である。